

# アイヌ民族文化研究センターだより NO.32

2010年3月

●もくじ

- ・山田秀三文庫の資料から「太櫓川川筋図」と太櫓川の地名調査資料…………… 1
- ・ホームページ改訂のお知らせ…………… 2
- ・平成22年度企画展のお知らせ…………… 2
- ・フィールドからデスクから「札幌北3条西7丁目物語(下)」…………… 3
- ・平成22年度から公開する資料について…………… 4
- ・寄贈を受けた資料…………… 6
- ・お知らせ…………… 8

[企画展(共催)]

## アイヌ語地名を歩く

—山田秀三の地名研究から— 2010・小樽/せたなを開催します!

8月28日～ 小樽市 総合博物館運河館

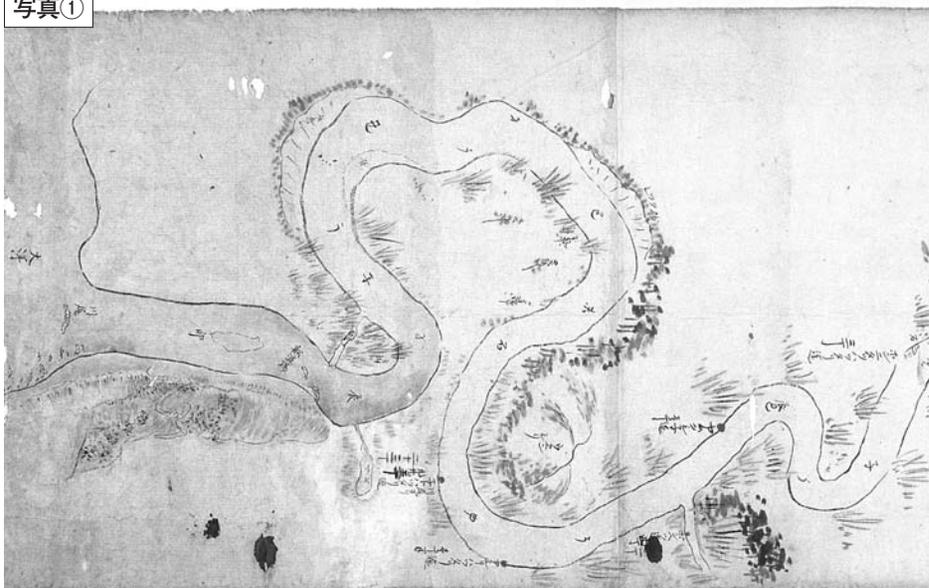
9月11日～ せたな町 北檜山情報センター

詳しくは2ページ及び8ページをご覧ください。

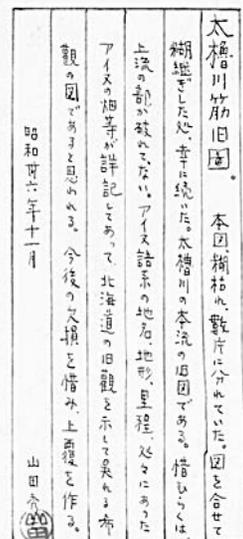
山田秀三文庫の資料から

## 「太櫓川川筋図」と太櫓川の地名調査資料

写真①



写真②



写真③



写真①は、山田秀三文庫の図書資料中にある、「太櫓川川筋図」の一部。太櫓川は、せたな町の中央部を東から西に流れる河川。地図の作成は明治初期のものと思われる。残念ながら上流部が欠けているが、それでも原寸は幅25cm、長さは約6mある。北海道では、一つの河川について、この年代の詳細な絵図が確認できる例は極めて珍しいとされる。ここには河口付近の部分だけを掲載した。

山田氏がこの地図を入手したときには、地図は既に相当傷んでいたと思われる。山田氏は数枚に分かれていた地図を貼り合わせ、紙製の覆いを自作している。写真②は、その覆い紙の裏面に山田氏を書いたメモ。地図を入手したときの状態、それに対して山田氏が施した措置などが簡潔に記されている。

写真③は、1974(昭和49)年7月に山田氏がこの地域の地名を調査した記録に含まれていた国土地理院5万分の1地形図。ここには太櫓市街から北檜山市街にかけての部分に掲載した。写真の下部にある太櫓川のあたりに、山田氏による書き込みが多数見られる。

これらの資料は、せたな町で開催する企画展の会場で展示します。「太櫓川川筋図」は、地図全体を原寸より拡大した複製を作り、展示する予定です。

## 研究センターのホームページが移転しました

研究センターから発信する資料情報の拡充やコンテンツの充実を図るために、研究センターホームページのリニューアルを行います。

このリニューアル作業は、今後複数年をかけて、資料検索機能や公開用資料の画像、閲覧機能などを充実させ、インターネット利用者にとって、より使いやすいものとなるように作業を進めていきます。その第一段階として、3月よりURL（ホームページのアドレス）の変更を行いました。

新しいURLは、

<http://ainu-center.pref.hokkaido.jp>

です。

また、4月からは、トップ画面も一新いたします。

今後とも、研究センターのホームページをよろしくお願いします。



### [企画展(共催)]

## アイヌ語地名を歩く —山田秀三の地名研究から— 2010・小樽／せたな

当センターでは、平成16年度から毎年度、企画展を道内各地で開催しています。平成22年度は、標記のテーマのもと、当センターが所蔵するアイヌ語地名研究の第一人者・故山田秀三氏の研究資料の紹介を中心とした展示を、小樽市（小樽市総合博物館運河館）とせたな町（せたな町情報センター）で開催します。

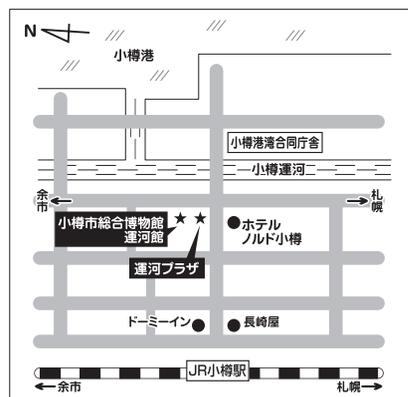
小樽は、山田氏が何度も地名調査に通った地域の一つであり、書き込みのある地図などの調査記録も多く残されています。また山田氏は、小樽市忍路の漁場<sup>おしよろ</sup>に伝承されてきた鯨漁<sup>にしんぼ</sup>の歌に強い関心を持ち、「忍路鯨漁の会」の設立でも中心的な役割を果たした一人です。

せたなでも、山田氏は地名調査で町内をくまなく回っています。また、当センターが所蔵する山田秀三文庫の中には、幕末から明治初年のものと思われる、同町を流れる太櫓川の詳細な絵図（太櫓川川筋図）が残されています。

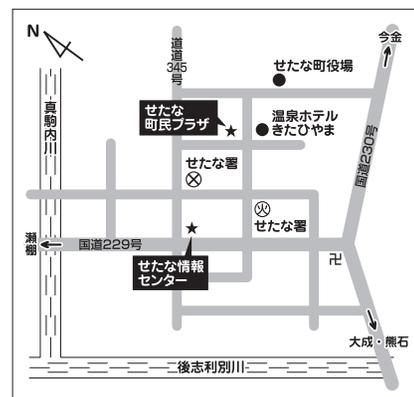
今回の展示では、それぞれの地域に関係する、地図や地名調査の記録のメモ、古地図や写真などの資料を展示し、アイヌ語地名の世界を紹介します。

期間中には、アイヌ語地名やアイヌ文化をテーマにした講演会や、「忍路鯨漁の会」による公演なども開催します。詳しくは8ページをごらんください。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。



展示・講座会場：小樽市総合博物館運河館  
講演会・公演会場：小樽市運河プラザ



展示会場：せたな町情報センター  
講演会会場：せたな町民プラザ

## フィールドからデスクから 札幌 北3条西7丁目物語 (下)

当センターは、昨年(2009年)3月に北3条西7丁目の緑苑ビルに移転しました。この住所は、キリスト教の伝道などで知られる、イギリス人ジョン・バチェラー(1854～1944)の札幌での住まいがあった場所で、札幌の中でもアイヌの歴史にゆかりの深いところの一つです。移転を機会に、このことを中心とした北3条西7丁目の歴史の一端をたどってみました。

前号では、バチェラーが札幌に居を構えた1892(明治25)年頃までの歴史を紹介しました。今回は、そこから後の時代について、現在見ることでできる記録を紹介します。

\* \* \* \* \*

バチェラーは、1898(明治31)年の春、現在の緑苑ビルがある北3条西7丁目1番地から、同じ北3条西7丁目の2番地に、新居を建てて引っ越します。現在の北海道庁別館の南東角に当たる場所でした。

その後のバチェラーの活動が、この北3条西7丁目を拠点にして行われたことは、様々な記録からもうかがい知ることができます。それらの中でも、最も知られたものの一つは、1924(大正13)年に、高等小学校や中等学校などに進学するアイヌの生徒の支援を目的としてここに寄宿舎を設けたことです。

バチェラーはそれ以前からも札幌の自宅にアイヌの生徒を寄宿させて進学の支援をしていたとされますが、この年、「アイヌ保護学園」という組織を設立し、この北3条西7丁目の自宅敷地内に寄宿舎を建築しました(写真①)。「アイヌ保護学園」はその後財団法人となり、バチェラーの名を冠し「バチラー学園」と改称します。学園の「顧問」には徳川義親、新渡戸稲造、「理事」には宮部金吾らの名が見られ、多くの人々の支援があったことがうかがえます。

寄宿舎の設計を手がけたのは、網走市郷土博物館や札幌北一条教会などの設計で著名な建築家・田上義也(1899～1992)です。寄宿舎の完成から間もない10月4日付けの『小樽新聞』は、通風と採光に配慮された建物だと写真入りで報じています(写真②)。



\* \* \* \* \*

寄宿舎の落成直前、7月の始め頃にバチェラーを訪れた『室蘭毎日新聞』の記者は、このとき既にバチェラーのもとに「寄寓」していた「北海中学の制服を

着」た「喜多風秀二郎」という青年に会っています(同紙7月7日付け記事)。この青年は名寄出身の北風周二郎で、北海中学を卒業した後、白老第二尋常小学校の教員をつとめました。寄宿舎落成後には入所者も増え、1931年度には男女合わせて14名、1933年度には13名が入所し、中学校や高等女学校に通っていたとされています。

学園には、ここから学校に通っていた生徒ばかりでなく、様々な人々が出入りし、集っていたようです。

例えば後に北海道ウタリ協会理事長を務めた野村義一(1914～2008)は、高等小学校を卒業後、専門学校検定試験(専検)受験のため札幌に出たとき、学園に宿泊したそうです。当時のことを回想した談話では「そのころ知里真志保先生はまだ一高の生徒でした。〔中略〕バチェラーの寮で一緒に寝たことがあります」とも語っています(野村義一『アイヌ民族を生きる』草風館、1996年)ので、アイヌ語研究者として知られる知里真志保(1909～1961)も、ここに宿泊したことがあったようです。後にウタリ協会副理事長をつとめた貝澤正(1912～1991)は、1931年に札幌で開催された「全道アイヌ青年大会」に参加した当時を振り返って「そのときバチェラー学園に泊まったんだと思います」と述べ、バチェラーの養女となっていた伊達(有珠)出身のバチェラー八重子に出会ったことなどを語っています(同前)。

\* \* \* \* \*

バチェラーは、日中戦争が長期化する中、1940年(昭和15)年末にイギリスに帰郷し、学園もこのとき閉鎖されます。学園の建物は現存していません。バチェラーの自宅の建物は、1962(昭和37)年に北海道大学に寄贈され、翌1963年に北大植物園内に移設され、現在に至っています。

\* \* \* \* \*

多くの人々が行き交い、さまざまな希望や想いを抱いて過ごした土地で、いま自分たちは仕事をさせてもらっている、ということは忘れずにいたいと思います。

(研究職員・小川正人)

※バチェラーの名は、文献によって「バチラー」とも「バチェラー」とも書かれますが、ここでは「バチェラー」に統一しました。

[今回の記事を書くに当たっての参考文献(本文中に書名を挙げたものは省きました)]

- ・『北海道社会福祉』第1巻第1号、1953年
- ・『新札幌市史』第4巻通史4、札幌市、1997年
- ・『北海道帝国大学での知里真志保』知里真志保を語る会、2009年

## 平成22年度から公開する資料について

平成22年度から新たに公開する資料についてお知らせします。資料の一覧は下の表のとおりです。

### ■山田秀三文庫 音声資料

平成20年度までに、アイヌ語地名及びアイヌ語・アイヌ文化関係の資料は概ね公開し、平成21年度からは、山田氏が関心を持ち支援していた追分節や鯨漁歌関係の資料の公開を始めています。

平成22年度からは、蘭越町港の「港沖揚げ保存会」による演唱を録音した資料、昭和51年の小樽市忍路の忍路神社祭礼で神輿の海上渡御の様子を録音した資料の計2点（公開用資料2点）を新たに公開します。

### ■山田秀三氏関連の音声資料

センターが、複写により収集した音声資料です（原資料は財団法人アイヌ民族博物館所蔵）。白老町における山田秀三氏の講演を記録した資料計3点（公開用資料2点）を公開します。

### ■久保寺逸彦文庫 音声資料

これまでに引き続き、アイヌ口承文芸やアイヌ民俗調査の資料の公開を進めています。平成22年度からは、静内町（現・新ひだか町）、白老町などで採録された民俗調査の資料4点（公開用資料7点）を新たに公開します。

### ■研究センター音声・映像資料

当研究センターの職員が各地の伝承者・体験者等から採録した資料や、寄贈や複写による資料を公開しています。平成22年度からは、門別町（現・日高町）・平取町・三石町（現・新ひだか町）・静内町（同前）などで採録した資料14点（公開用資料13点）を新たに公開します。

### ■山田秀三文庫 文書資料

札幌や青森の地名調査の記録ファイルや、室蘭の地名調査の際に用いられた地図などの地名関係資料のほか、「アイヌ文化伝承保存会」（後の財団法人アイヌ無形文化伝承保存会）の設立当時の関係文書や、1965年に開催された「北方言語研究者協議会」の資料など、アイヌ文化の記録・保存・研究の歴史に関わる資料11点を新たに公開します。

#### 利用について

これらは研究センターの閲覧コーナーで視聴や閲覧ができます。音声資料はコンピューターで、映像資料は複製DVDで視聴できます。写真資料・文書資料はプリンターからの紙焼きを閲覧いただいています。

なお、資料の複写は行っていません。

### 〔資料の一覧〕

※音声・映像資料を視聴するときは、「公開用資料番号」で請求してください。

※「採録地」は採録当時の市町村名で記してあります。

#### ■山田秀三文庫 音声資料

公開用 資料番号	表 題	語り手（敬称略）	採 録 年 月 日	採録地	原資料番号
	資 料 の あ ら ま し				
YC800044	蘭越町の港沖揚げ音頭保存会による鯨漁歌	港沖揚げ音頭保存会	1968（昭和43）年3月	蘭越町港	YC000054
	蘭越町の港沖揚げ音頭保存会による鯨漁歌の演唱を録音したもの。同会が設立された年の公演である。				
YC800045	忍路の鯨漁歌 4 : 1976年の忍路神社祭礼 海上渡御での舟こぎ歌ほか	忍路鯨場の会 ほか	1976（昭和51）年7月5日	小樽市忍路	YC000071
	忍路神社の祭礼で、海上を神輿が渡る場面の一部を録音したもの。				

#### ■山田秀三氏関連の音声資料

公開用 資料番号	表 題	語り手（敬称略）	採 録 年 月 日	採録地	原資料番号
	資 料 の あ ら ま し				
CC800204	白老町における山田秀三講演「アイヌ語と地名」 1、2（その1）	山田秀三	1984（昭和59）年9月25日	白老町	CC001442、 CC001443
CC800205	白老町における山田秀三講演「アイヌ語と地名」 2（その2）、3	山田秀三	1984（昭和59）年9月25日	白老町	CC001443、 CC001444
	白老町で、同町のアイヌ民族博物館の主催により開催された山田秀三の講演会「アイヌ語と地名」の録音。				

## ■久保寺逸彦文庫 音声資料

公開用 資料番号	表 題	語り手 (敬称略)	採 録 年 月 日	採録地	原資料番号
	資 料 の あ ら ま し				
KC800081	サハリンの昔話 (日本語訳)	藤山ハル	1971 (昭和46) 年3月31日	東京都	KC000060
	サハリン西海岸北部の恵須取出身の藤山ハル氏が、アイヌ語の昔話の日本語で語ったものを録音したもの。				
KC800082	民俗調査 静内 2	葛野辰次郎	1970 (昭和45) 年8月5日	静内町 (現新ひだか町)	KC000054-02
	静内町 (現新ひだか町) 在住の葛野辰次郎氏より、葬送に関する儀礼などについて聞き取りしたもの。				
KC800083	民俗調査 静内 3 (その1)	森崎東吉	1970 (昭和45) 年8月6日	静内町 (現新ひだか町)	KC000055
KC800084	民俗調査 静内 3 (その2)	森崎東吉	1970 (昭和45) 年8月6日	静内町 (現新ひだか町)	KC000055
	静内町 (現新ひだか町) 在住の森崎東吉氏より、葬送儀礼などについて聞き取りしたもの。				
KC800085	民俗調査 白老・静内 1-1 (その1)	其浦ハル、森竹竹一、野本イツ子	1970 (昭和45) 年7月10日	白老町	KC000025
KC800086	民俗調査 白老・静内 1-1 (その2)	其浦ハル、森竹竹一、野本イツ子	1970 (昭和45) 年7月10日	白老町	KC000025
KC800087	民俗調査 白老・静内 1-2	其浦ハル、森竹竹一、野本イツ子	1970 (昭和45) 年7月11日	白老町	KC000025
	白老町において、同町出身の森竹竹市氏と野本イツ子氏のほか、静内出身の其浦ハル氏から妊娠、出産、育児、婚姻、葬制などについて聞き取りしたもの。				

## ■研究センター音声・映像資料

公開用 資料番号	表 題	語り手 (敬称略)	採 録 年 月 日	採録地	原資料番号
	資 料 の あ ら ま し				
CC800191	平取町の伝承 22	上田トシ (同席者: 松島トミ、鍋澤キリ)	1997 (平成9) 年10月17日	門別町 (現日高町) 豊田	CC000392
CC800192	平取町の伝承 23	上田トシ (同席者: 鍋澤キリ)	1998 (平成10) 年10月1日	平取町去場	CC000800
	平取町出身の上田トシ氏から、口承文芸 (「ウエベケレ」) を採録したもの。				
CC800193	信仰に関すること: 葛野辰次郎さん 1-1	葛野辰次郎	1998 (平成10) 年7月18日	静内町東別	CC000792
CC800194	信仰に関すること: 葛野辰次郎さん 1-2	葛野辰次郎	1998 (平成10) 年7月18日	静内町東別	CC000793
CC800195	信仰に関すること: 葛野辰次郎さん 1-3	葛野辰次郎	1998 (平成10) 年7月18日	静内町東別	CC000794
	静内町 (現新ひだか町) の葛野辰次郎氏から、信仰の中でも特に人の守り神について聞き取りしたもの。				
CC800196	信仰に関すること: 松島トミさん 3	松島トミ	1996 (平成8) 年6月26日	門別町 (現日高町)	CC000913
CC800197	信仰に関すること: 松島トミさん 4	松島トミ	2003 (平成15) 年3月15日	門別町 (現日高町)	CC001196
	門別町 (現日高町) の松島トミ氏から、夢見、死後の世界、悪き神などについて聞き取りしたもの。				
CC800198	信仰に関すること: 黒川セツさん 1	黒川セツ	2005 (平成17) 年3月10日	平取町貴貴別	CC001364
CC800199	信仰に関すること: 黒川セツさん 2 (その1)	黒川セツ	2005 (平成17) 年6月23日	平取町貴貴別	CC001387
CC800200	信仰に関すること: 黒川セツさん 2 (その2)、3	黒川セツ	2005 (平成17) 年6月23日、 2005 (平成17) 年10月21日	平取町貴貴別	CC001387、 CC001374-01
	平取町貴貴別の黒川セツ氏から、カラスやキツネ、星などから知ることの出来る前兆、クマから身を守る方法、発疹チフスが流行った当時のことなどについて聞き取りしたもの。				
CC800201	三石地方の伝承 10-1		1997 (平成9) 年6月24日	三石町 (現新ひだか町)	CC000461
CC800202	三石地方の伝承 10-2、10-3		1997 (平成9) 年6月24日	三石町 (現新ひだか町)	CC000462、 CC000463
CC800203	三石地方の伝承 11		1997 (平成9) 年6月25日	三石町 (現新ひだか町)	CC000464
	三石町在住の80代 (採録当時) の女性から、ハルネテ、昔の代用タバコ、刺青、女性の作法、衣服、歌や踊り、ゴザ編み、戦時中のカムイノミ、などについて聞き取りしたもの。				

## ■山田秀三文庫 文書資料

資料番号	表 題	資 料 の あ ら ま し
YM0002	室蘭地図	室蘭とその周辺の地図19点。1950~70年代の地名調査に用いられたものか。
YF0032	浜益 当別 産化美唄 札沼線	1974 (昭和49)、1988 (昭和63) 年に美唄、石狩当別、浦臼、新十津川、浜益などを調査した記録。
YD0123	北方言語研究者協議会	1965 (昭和40) 年9月に北海道大学で開催された「北方言語研究者協議会」のプログラム、発表資料など。
YD0225	アイヌ語資料館設置の件要望書	山田氏のほか、島本融 (北海道銀行頭取) らの連名による要望書。構想段階の下書きか。
YM0270	陸奥出羽国都行程全図	陸奥・出羽両国を描いた幕末の図。刷の異なるもの2点あり。
YF0469-01	札幌とその周辺の河川	札幌市内とその周辺の河川に関する調査記録。河川の写真が主。
YF0526	青森周辺 56	1981 (昭和56) 年に青森市のほか十三湖、小泊、野辺地、三沢などを調査した記録。
YM0590	東北地方 内の分布図	東北地方の地図に「内 (ナイ)」の付く地名を書き込んだもの。山田氏による、「昭和二十一年頃記入のもの」との書き込みあり。
YD0656	「アイヌ文化伝承保存会」設立関係文書	設立趣意書、定款、事業計画書、「アイヌ文化伝承保存会の歩み」などの文書が一括されている。
YM0677	蝦夷古図写本	「筆者不明/蝦夷古図写本」「東京目黒の古書店にて求む」と山田氏が記した紙が添えられている。
YM0696	下北半島 北海道南辺 地名比較図	津軽海峡を挟む地域の20万分の1地形図を貼り合わせ、古地図や文献の地名などを山田氏書き込んだもの。

## 寄贈を受けた資料

(2009年9月～2010年2月)

発行者名の50音順に資料名を掲載しています。資料を寄贈していただいた方々・機関にお礼を申し上げます。

### 愛知県公文書館

- ・愛知県公文書館企画展解説書 公文書と写真が語る伊勢湾台風
- ・愛知県公文書館だより 第14号

### アイヌ語地名研究会

- ・アイヌ語地名研究 12
- ・アイヌ語地名研究会会報 第37号
- ・アイヌ語地名研究会会報 第38号

### アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会

- ・〔アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会〕 報告書

### (財)アイヌ文化振興・研究推進機構

- ・平成20年度 普及啓発セミナー報告集
- ・第13回アイヌ語弁論大会 プログラム イタカン ロー アイヌ語で話しましょう!
- ・アイヌ文化フェスティバル 2009 白老〔パンフレット〕
- ・アイヌ文化賞〔平成21年度アイヌ文化賞・アイヌ文化奨励賞贈呈式プログラム〕
- ・アイヌの美 カムイと創造する世界
- ・平成21年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.3、4

### いしかり砂丘の風資料館、石狩市郷土研究会

- ・エスチュアリ いしかり砂丘の風資料館だより No.35
- ・いしかり暦 創刊号～第16号

### イタハチャラ同人

- ・itahcara (イタハチャラ) 第6号

### 宇井真紀子

- ・アイヌときどき日本人 増補改訂版

### 愛媛県歴史文化博物館

- ・研究紀要 第11号

### 長見義三

- ・ちとせ歴史ものがたり

### 小樽商科大学百年史編纂室(編)

- ・緑丘アーカイブズ 小樽商科大学百年史編纂室ニュース 第10号

### 帯広市図書館(帯広叢書編集委員会)

- ・帯広叢書 第62巻 吉田巖資料集28

### 学習院大学史料館

- ・ミュージアム・レター No.11

### 神奈川大学日本常民文化研究所

- ・モーションキャプチャーによる芸能の定量比較研究CG映像集
- ・民具マンスリー 第42巻4号～第10号
- ・神奈川大学日本常民文化研究所〔要覧〕2009年度

### 上ノ国町教育委員会(編)

- ・史跡 上之国館跡Ⅱ 平成20年度勝山館跡発掘調査・整備事業報告書
- ・君尹彦氏文書調査団事務局(編)
- ・君尹彦氏文書調査団報 雪解け 創刊号

### 九州歴史資料館(編)

- ・九歴だより No.30

### 高知県立牧野植物園

- ・高知県立牧野植物園だより No.39

### 神戸市立博物館

- ・神戸市立博物館年報 No.24
- ・博物館だより No.96

### コープさっぽろ

- ・ぴあっと Vol.130、131

### 国立公文書館

- ・アーカイブズ 第36号
- ・公文書移管関係資料集 平成21年度版

### 国立日高青少年自然の家

- ・地域の特色を活かしたプログラムの開発 アイヌモシリ 日高体験プログラム

### 国立民族学博物館

- ・国立民族学博物館研究報告 34巻1号、2号
- ・月刊みんぱく 第33巻9号～第34巻第2号
- ・民博通信 No.126、127
- ・〔国立民族学博物館〕研究年報2008
- ・国立民族学博物館調査報告82 「渡鴉のアーチ」(1903-2002) ジェサップ北太平洋調査を追試検証する

### コスモメディア

- ・北海道生活 Vol.14、15

### 小林裕幸

- ・幕末函館人物伝 函館学ブックレットNo.1

### 札幌市総務局行政部総務課

- ・札幌市公文書館基本構想

### 札幌市文化資料室

- ・文化資料室ニュース 第9号

### 佐藤知己

- ・古文獻によるアイヌ語史の構築

### 沙流川歴史館

- ・沙流川歴史館 No.35

### シーニックバイウエイ支援センター

- ・Byway [バイウエイ] 2009 Vol.1

### 滋賀大学経済学部附属史料館

- ・滋賀大学創立60周年記念 平成21年度企画展 近江商人を学 中井源左衛門家

### 標茶町郷土館

- ・標茶町郷土館報告 第21号

### 市民外交センター

- ・市民外交センター 2007-08年 年次報告書

### 真宗大谷派宗務所

- ・アイヌ民族差別に関する学習資料集 共なる世界を願って

### 菅野俊之

- ・〔図書紹介〕『吉田巖書誌』

### 鈴木トミエ

- ・新聞に見る石狩・厚田・浜益 歴史年表 第6号 明治32年

### 世界人権宣言大阪連絡会議

- ・世界人権宣言大阪連絡会議ニュース No.323～330

### 世界人権問題研究センター

- ・グローブ No.60

### 関秀志

- ・北海道民具：アイヌ・開拓民具

### 先住民族の10年市民連絡会

- ・先住民族の10年News 第157号～161号

### 高木重俊

- ・蠣崎波響の漢詩の世界 函館学ブックレットNo.4

### 高木崇世芝

- ・村岡格の業績と森文庫・岳陽文庫

### 谷本一之

- ・アイヌ絵を聴く：描かれたアイヌの歌と踊り〔CD〕

### 知多市歴史民俗博物館(編)

- ・知多市歴史民俗博物館年報 第10号(平成20年度)

### 千歳市総務部主幹市史編さん担当(編)

- ・『新千歳市史』編さんだより 志古津 第10号

### 津田命子

- ・伝統のアイヌ文様構成法によるアイヌ刺しゅう入門 カバラミツ編

### 天理大学附属天理参考館(編)

- ・天理参考館報 第22号

### 東京外国語大学記述言語学研究室、語学教育研究所

- ・東京外国語大学記述言語学論集 思言 第5号
- ・語学研究所論集 第14号

### 東京都江戸東京博物館

- ・江戸東京博物館NEWS Vol.67、68

### 東北学院大学東北文化研究所

- ・東北学院大学東北文化研究所紀要 第41号

### 東北芸術工科大学東北文化研究センター

- ・東北文化友の会会報 まんだら 第41、42号
- ・季刊 東北学 第21、22号

**東北大学東北アジア研究センター**

- ・東北大学東北アジア研究センター・シンポジウム 内なる他者＝周辺民族の自己認識のなかの「中国」
- ・1930年代ソ連の対モンゴル政策 : 満州事変からノモンハンへ 東北アジア研究センター叢書 第32号
- ・『元朝秘史』モンゴル語漢字音訳・傍訳漢語対照語彙 東北アジア研究センター叢書 第33号
- ・自己言及的民族誌の可能性 東北アジア研究センター叢書 第34号
- ・ロシア史料にみる18～19世紀の日露関係 第4集 東北アジア研究センター叢書 第36号
- ・東北大学東北アジア研究センターニューズレター CNEAS 第41、42号

**東北電力広報・地域交流部**

- ・白い国の詩 通巻第607号

**徳川義宣**

- ・徳川さん宅の常識

**徳島県立文書館**

- ・写真と文書で見る徳島工業高等学校史
- ・徳島県立文書館年報 第12号 平成20年度 2008
- ・特別企画展 暮らしの中の吉野川

**苫小牧駒澤大学**

- ・苫小牧駒澤大学紀要 第21号

**中西出版**

- ・あうる Vol.35

**長野県立歴史館**

- ・長野県立歴史館たより Vol.60、61

**二風谷アイヌ語教室**

- ・二風谷アイヌ語教室 広報紙第89号

**沼津市明治史料館**

- ・沼津市明治史料館通信 Vol.25 No.2、3
- ・牧堰・門地用水 水の恵みと人々の暮らし
- ・図説 沼津兵学校

**根室市歴史と自然の資料館**

- ・くるまいし 根室市歴史と自然の資料館たより No.23、24

**ノーザンクロス**

- ・カイ Vol.5、6

**函館市教育委員会、函館市埋蔵文化財事業団**

- ・函館市白尻小学校遺跡 豊崎C・D・F・O遺跡
- ・函館市 豊崎B遺跡 豊崎P遺跡

**林家文書解読ボランティアの会**

- ・余市アイヌの歴史的研究 林家文書及び考古資料の分析を中心にして

**反差別国際運動日本委員会**

- ・IMADR-JC通信 No.159～161

**部落解放・人権研究所**

- ・研究所通信 No.370～372

**文化学園図書館**

- ・図書館だより No.149

**別海町郷土資料館**

- ・別海町郷土資料館だより No.117～122

**北海道大学学術研究会**

- ・北海道大学 学術論集 第141号

**北海道アイヌ協会登別支部**

- ・知里真志保 アイヌの言霊に導かれて〔DVD〕

**北海道開拓記念館**

- ・北海道開拓記念館2009移動博物館・オホーツクミュージアムえさし開館10周年記念事業 謎の岩面刻画：フゴッペ洞窟
- ・北海道開拓記念館第65回特別展「北海道象化石展！」
- ・北海道開拓記念館だより Vol.39 No.3、4

**北海道環境財団**

- ・北海道環境財団月刊ニュースレター TGAL No.142～147

**北海道教育庁学校教育局義務教育課**

- ・アイヌの人たちの歴史・文化等に関する啓発資料 ピラサ 第17号

**北海道ジェイ・アール・エージェンシー**

- ・The JR Hokkaido No.259

**北海道大学総合博物館**

- ・北海道大学総合博物館開館10周年記念企画展示 生物多様な部屋 北大分類学の系譜
- ・北海道大学総合博物館ニュース 20号
- ・北海道大学総合博物館開館10周年記念展 時 正田豊治ガラス乾板写真展

**北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園**

- ・北大植物園資料目録 第6号 アイヌ民族資料目録
- ・北大植物園研究紀要 第7号
- ・北大植物園研究紀要 第8号
- ・北大植物園研究紀要 第9号

**北海道文化財団**

- ・北のとびら No.83

**北海道文化財保護協会**

- ・文化情報 第315～317号

**北海道埋蔵文化財センター**

- ・北海道立埋蔵文化財センター年報10 平成20(2008)年度
- ・恵庭市柏木川4遺跡(4) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第264集
- ・調査年報 22 平成21年度

**北海道立衛生研究所**

- ・北海道立衛生研究所報 No.59

- ・北海道立衛生研究所事業年報 平成20年度

**北海道立地質研究所**

- ・北海道立地質研究所年報 平成20年度

**北海道立北方民族博物館**

- ・第24回特別展 環北太平洋の文化IV 千島列島に生きる アイヌと日露・交流の記憶
- ・平成20年度年報〔北海道立北方民族博物館〕
- ・北方民族博物館だより No.74、75

**北海道立文書館**

- ・赤れんが 北海道立文書館報 No.45

**松石隆**

- ・函館と鯨 函館学ブックレットNo.2

**松阪市生活部人権推進課(編)**

- ・自らを誇りうるために：アイヌ民族からのメッセージ

**「間宮林蔵の大陸の旅200年」実行委員会**

- ・国際シンポジウム 間宮林蔵が見た世界資料集

**宮本正廣**

- ・郷土誌 太櫓村を創出した人々の軌跡

**盛岡市先人記念館**

- ・盛岡市先人記念館だより No.43

**ヤイユカラの森**

- ・Yay Yukar Park 64

**余市町教育委員会、余市水産博物館**

- ・余市水産博物館研究報告 第12号
- ・余市町 栄町7遺跡

**横浜ユーラシア文化館**

- ・口琴の広がり：Sound Landscape of EurAsia〔展示資料目録〕

**留萌市海のふるさと館**

- ・留萌市海のふるさと館紀要 第20号

**和合会(八雲町)**

- ・八重垣 第42号

**稚内信用金庫**

- ・ジャスト・ナウ No.77

センターのホームページでは、寄贈を受けた資料のほか、購入した資料などについてもお知らせしています。

## 行事など

### ■平成22年度企画展

「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 2010・小樽／せたな」

2ページでもお知らせしたとおり、平成22年度の企画展を、小樽市とせたな町で、次の日程で開催します。

#### ●小樽市

会場：小樽市総合博物館運河館  
期間：8月28日(土)～10月3日(日)  
9:30～17:00

休館日：なし

入場料：常設展の入館料が必要です。  
(一般¥300、高校生・市内在住70歳以上¥150)

#### ●せたな町

会場：せたな町情報センター  
期間：9月11日(土)～9月26日(日)  
10:00～19:00

休館日：9月13・21・22・24日

入場料：無料

### ■講演会(企画展関連事業)

企画展の会期中に、講演会を次の通り開催します。

#### ①(講座)山田秀三文庫の小樽・積丹地方の地名調査資料について

日時：8月28日(土) 14:30～16:00

会場：小樽市総合博物館運河館

講師：センター職員

#### ②(講演会)小樽・後志からアイヌの歴史と文化をみる

日時：9月4日(土) 14:30～17:30

会場：小樽市運河プラザ

講師：田島佳也氏(神奈川大学教授)

佐藤知己氏(北海道大学准教授)

#### ③(お話と公演)忍路鯨場の会と山田秀三(仮題)

日時：9月18日(土) 14:30～16:00

会場：小樽市運河プラザ

出演：忍路鯨場の会

#### ④(講演会)せたなから、地名・歴史・文化を考える

日時：9月11日(土) 14:30～17:30

会場：せたな町民プラザ

講師：高木崇世氏(アイヌ語地名研究会)

桜庭 博氏(せたな町文化財保護委員)

佐々木利和氏(国立民族学博物館教授)

本田 優子氏(札幌大学教授)

### ■研究センターのホームページのアドレスが変わりました

2ページでもお知らせしたとおり、研究センターのホームページ(ウェブサイト)のアドレスが変わりました。

<http://ainu-center.pref.hokkaido.jp>

### ■多機能トイレが設置されました

研究センターのある北海道庁緑苑ビル庁舎(緑苑ビル1階)に、3月より、車椅子を使用する方や、オストメイト対応設備が必要な方などにも幅広くお使いいただける多機能トイレが新設されました。

## 平成21年度後半の動き

- ・教育史学会第53回大会「近代初頭の旧「和人地」を中心とした地域におけるアイヌ児童の就学状況について」(名古屋市・名古屋大学/10月/発表:小川)
- ・平成21年度アイヌ民族文化研究センター運営協議会(札幌市/10月)
- ・北海道立北方民族博物館講座「環オホーツクの民族音楽事情」(網走市・北方民族博物館/11月/講師:甲地)
- ・キャンパスコンソーシアム函館合同公開講座 函館学2009「函館と近代アイヌ教育史―谷地頭のアイヌ学校の歴史から―」(函館市・ホテル法華クラブ函館/11月/講師:小川)

## センターの刊行物

平成21年9月から平成22年3月までに、この『センターだより』32号のほか、次の刊行物を発行しました。

### 『『北東日報』『釧路新聞』掲載

アイヌ関係記事(1901～1942年):  
目録と紹介 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査報告書 6』

### 『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』16号

(以下は表題と執筆者名です)

[論文] アイヌ語虻田方言の英雄叙事詩(yukar) テキストとその言語的特徴(2) 佐藤 知己

[資料紹介] 魔祓いの儀礼、および魔祓いに関連する歌や踊りについての聴き取り 甲地 利恵

[資料紹介] 余市水産博物館所蔵のアイヌ資料 古原 敏弘

[研究ノート] アイヌの熊送り関係資料概要―ペテルブルグの博物館所蔵品について―

荻原 眞子・古原 敏弘

・『調査研究報告書』及び『研究紀要』は、北海道行政情報センター(道庁別館3F/011-231-4111内線22-389、または011-241-7979)で有償頒布しています。

・『センターだより』は当センターのホームページでもご覧いただけます。

## アイヌ民族文化研究センターだより No.32

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター  
2010年3月25日

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 緑苑ビル1F

電話 011-272-8801(代) FAX 011-272-8850

月～金/9:00～17:00(土・日・祝日/休)

URL <http://ainu-center.pref.hokkaido.jp>

E-mail [haccr.1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:haccr.1@pref.hokkaido.lg.jp)

この広報紙は、環境に配慮した用紙を使用しています(古紙配合率100%、白色度70%)。